

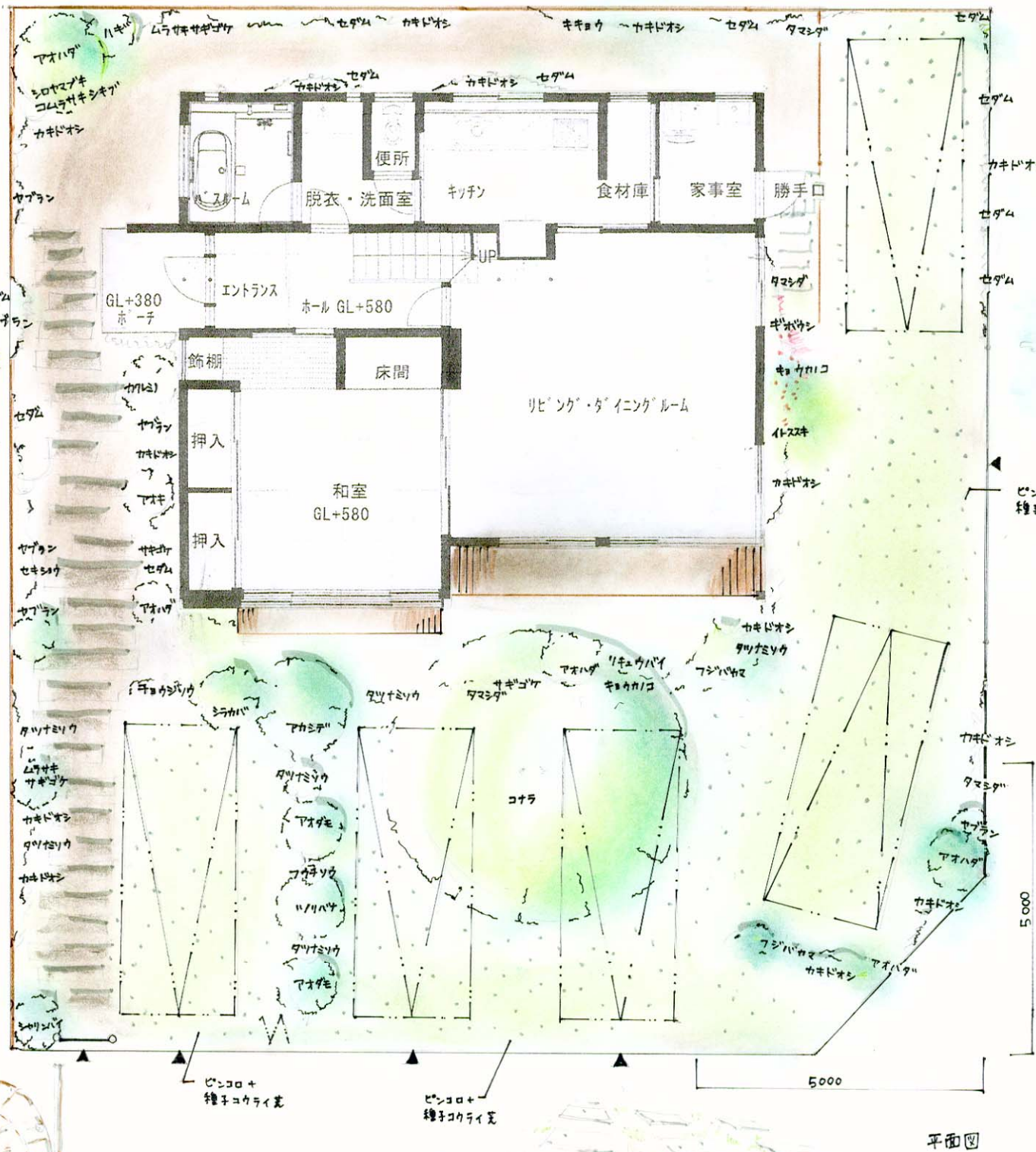
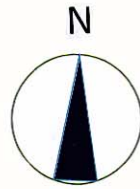
住宅庭園計画図

都市近郊 働いてくれる庭

SMART GARDEN



S = 1/50



平面図

設計主旨

インターネットの発達によって、日本だけでなく、世界各国を巡ることができるようになった。世界の住宅の庭は広く、丁寧に手入れされている印象を受ける。一方、日本では、手間がかからないようにコンクリート打ちの殺風景な庭が多い。せっかくの広い敷地の住宅でも、庭の一部を区画し、貸駐車場へ変更している。このままでは日本が良いのか、とても不安になった。

庭から季節の移り変わりも楽しみ、地域の街並みを形作る、日本中こういった庭にしたいと受け入れられる住宅庭園というのを目指した。現代の日本の住宅は、自動車と切り離して考えることはできない。日本の情勢に合った、美しく、地域の景観になじむ庭とした。



イメージ図

個人住宅の貸駐車場は殺風景になってしまふことが多いが、植木を植えるなど工夫をすることで趣のある庭とした。中央に植えた大きなコナラは景観を保つだけでなく、冬は落葉して住宅に太陽の光を届け、夏は生い茂った葉で日陰をつくり、夏でも涼しい空間を生み出すという季節に応じた役割を果たす。また、それにより冷暖房費も抑制できる。



勝手口付近の様子

雑草などが生え、通りを妨げたりは住宅の横や裏の狭い空間を工夫して、きちんと整備することで有効活用できるようにした。また、一見見えない裏の空間に草花を植えることで緑を取り入れた。



一般的にコインパークのロック板にはベンキで着色された鉄板が使われることが多いが、木の板を使うことで駐車場の景観と損ねないようにした。

駐車場のロック板

